

平成26年6月7日

友の会事務局

## 平成26年度 原子力友の会 総会式次第

場所：東京都市大学世田谷キャンパス21C教室

進行：羽倉 尚人

### 0. 幹事会の部（13：00～14：00）

- 1) 平成25年度活動報告
- 2) 会計報告の確認
- 3) 平成26年度活動計画
- 4) その他

---

### 1. 総会の部（14：00～15：00）

- 1) 挨拶（本多会長）
- 2) 来賓挨拶
- 3) 原子力安全工学科・原子力研究所の現状（将来計画を含む）の紹介  
（持木教授・松本教授）
- 4) 前回議事録の確認
- 5) 平成25年度活動報告（本多会長）
- 6) 平成25年度会計報告及び監査報告（内山、幅）
- 7) 新入会員及び会員名簿の確認
- 8) 平成26年度活動計画（羽倉）
- 9) その他

### 2. 講演会（15：00～17：00）

「日本のエネルギー政策」 柏木 孝夫 特任教授

【場所移動】

### 3. 懇親会（17：00～19：30）

場所：東京都市大学世田谷キャンパス SAKURA CENTER（14号館）カフェ

会費：4,000円

## 原子力友の会 総会（第2回） 議事録（案）

開催日時：平成25年6月8日（土）14:00～15:10

開催場所：東京都市大学原子力研究所

出席者：後藤田栄司（武蔵工業会／校友会）

本多庸郎、日比野正明、山野俊也、幅 聡、石毛崇之、佐々木陽祐、川久保政洋、三木陽介、吉田直弘、伊下信也、菅野正行、神谷亮平、吉岡聡、藤本晋太郎、田島秀雄、松本裕人、白川寛也、萩原武司、橋爪宏明、加藤貴士、高崎新、立澤遼太郎、犬飼健一郎、秋山輝、持木幸一、飯島伸一、岡田往子、松本哲男、内山孝文、羽倉尚人（順不同、敬称略、全31名）

- 配布資料：1. 平成25年度 原子力友の会 総会式次第  
2. 原子力安全工学科パンフレット  
3. 原子力研究所パンフレット  
4. 原子力友の会 会員名簿（閉会后回収）

### 議題及び報告（進行：羽倉）

#### 1. 挨拶

本多会長の挨拶に続き、校友会の後藤田栄司氏より来賓挨拶を頂戴した。後藤田氏からは6月22日（土）に工業会総会および校友会発足式が実施される予定であることについてご紹介があった。また、校友会よりお祝い金1万円を頂戴した。

#### 2. 平成24年度活動報告

活動報告に先立ち、昨年5月の第1回総会の議事録の確認が行われ、誤字訂正はあったものの内容的には異議なく承認された。

松本より、平成24年度の活動報告があり、本年2月の原子力安全工学科の卒論発表会において「友の会賞」の審査が行われ、学位授与式に合わせて、優秀な発表をした3名に対して授与されたことが紹介された。

#### 3. 原子力安全工学科・原子力研究所の現状の紹介

原子力安全工学科主任教授の持木先生より原子力安全工学科の現状について紹介があった。学科設立から6年が経過し、これまでの応募者数の推移や就職状況などについて紹介された。

松本より、原子力研究所の最近の動向について紹介があった。本年4月より新たに助手として羽倉が加わったこと、国の人材育成プログラムへも積極的に応募している状況であることが紹介された。特に本年は武蔵工大炉臨界50周年に当たり、それに伴いイベントを計画中であることが紹介された。

#### 4. 平成24年度会計報告及び監査報告

内山より平成24年度会計報告があった。また、監査の幅より平成24年度の会計報告について問題がない旨の監査報告があった。

#### 5. 会員名簿の確認と規約の改正

内山より現状の会員名簿について紹介があり、訂正がある場合には事務局へ伝えていただくよう依頼があった。

松本より規約の改正について提案があった。改定案の修正箇所は以下の3か所である。

- ①会の名称：原子力友の会 OB会 → 原子力友の会

…女性会員もいるという観点から OB を外してはどうか。

②第 9 条「…及び共同原子力専攻修了生にあっては…」を削除

…原子力安全工学科の卒業生と重複するところがあるので、あえて修了生からも幹事を選出しないことにしてはどうか。

③第 2 条「…会員相互の親睦…」を「…会員相互および学生との親睦…」へ変更

…卒業生と現役の学生との交流の場としても活用するというを明確化してはどうか。

以上、3 点について、出席者から承認が得られたので、本改正案を本日（2013/6/8）付にて施行することとなった。

## 6. 平成 25 年度活動計画

羽倉より平成 25 年度の活動計画案が示された。今年度は昨年につき「友の会賞」を選考及び授与すること、また、新たな企画として秋ごろに会員が集まる機会を計画中であることが紹介された。具体的な案は今後幹事会で詰めることとした。

また、友の会の HP 案が示された。HP 公開にあたっては、個人情報の取扱いについて注意が必要であることが指摘され、事務局として可能な限り細心の注意を払って運用することが必要であることが確認された。メーリングリストについても今後整備を進めていく旨紹介があった。

以上の活動計画案について、出席者から承認が得られた。

## 6. その他、意見交換

- ・ 後藤田氏より校友会では学生を準会員としていることが紹介された。これを受けて、校友会の会則が正式に発行されたのちには、校友会の下部組織である友の会の会則においても同様の改正をしてはどうかという意見があった。
- ・ 秋ごろのイベントについては、学園祭（11 月末に開催予定）に合わせて実施するのがよいのではないかという意見があった。
- ・ 原子力安全工学科のキャリア支援担当の飯島先生より、原子力友の会（卒業生の会）と閃源会（学生の会）のつながりを今後とも継続・発展させていくような形が望ましいとのコメントがあった。

上記、総会后、以下を開催した。

○講演会 15:20～16:00

「ドイツにおける原子炉廃止措置の現状」 講演者：内山孝文

○フリートーキング or 施設見学会 16:10～17:00

原子炉室、RI 実験室等 案内人：内山孝文、三橋偉司、羽倉尚人

○懇親会 18:00～20:00

たまプラーザ駅近くの居酒屋「三拍子」にて

以上

## 平成25(2013)年度 活動報告

### 1. 時系列

- 2013年 6月 8日(土) 第2回総会  
2014年 2月 7日(金) 原子力安全工学科・卒論発表会【学科行事】  
2014年 3月19日(水) 学位授与式の中で友の会賞を授与  
2014年 6月 7日(土) 第3回総会

### 2. トピックス

#### ○友の会賞の授与

原子力安全工学科の卒業論文発表会において優れた発表をした学生に対して原子力友の会賞を授与した(5,000円相当の図書券×3件)。

- ・ 審査は、原子力安全工学科の先生方により実施
- ・ 学位授与式(学科別ガイダンス)において、本多会長より受賞学生に対して授与

○HP 公開 (<http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/tomo/index.html>)

以上

# 会計報告書

年度： 2013年度 団体名： 原子力友の会

報告期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	368,740	
会費振込(6月)	9,000	直接手渡：3名 <sup>1)</sup>
会費振込(6月)	3,000	送金：1名 <sup>2)</sup>
校友会お祝い金	10,000	校友会：後藤田様から
受取利子(1)	44	
会費振込(2月)	3,000	送金：1名 <sup>3)</sup>
会費振込(3月)	6,000	送金及び直接手渡：2名 <sup>4)</sup>
会費徴収(原子力安全工学科)	81,000	新規入会：27名
会費(後藤田様)	10,000	
懇親会后(二次回)の繰越金	6,290	
合計	497,074	

支出の部		
科目	金額	摘要
総会案内郵送費	11,360	
原子力友の会OB会賞	15,000	図書券5,000円 各コース1名ずつ <sup>4)</sup> 計3名
郵送用ラベルシート	1,050	
懇親会費	24,000	参加学生の補助と欠席者(計6名分)の補填
合計	51,410	

差引収支	445,664 円
------	-----------

備考
会費：3000円/名
1)：神谷亮平様、萩原武司様、赤井田康雄様
2)：泉正憲様
3)：平川完様
4)：佐々木修一様、飯島伸一様

確認	作成
幅	内山
	

2013 年 6 月 14 日

第2回総会（平成25年6月8日（土））  
懇親会 会計報告

団体名： 原子力友の会08会

収入の部		
科目	金額	摘要
懇親会費	96,000	平成25年6月8日懇親会出席者24名 <sup>1)</sup>
参加学生及び当日欠席者分不足金額	24,000	学生4名、当日欠席者2名 計6名 <sup>2)</sup>
合計	120,000	

支出の部		
科目	金額	摘要
ご飲食代	120,000	居酒屋 三拍子（30名分） 内容：4000円コース
合計	120,000	

差引収支 0 円

備考
会費：4000円／名
1) 学生の人数含まれていない
2) 友の会会費で充当。

作成  
内山



## 平成26(2014)年度 活動計画

### 1. 時系列

- 2014年 6月 7日(土) 第3回総会・講演会  
2014年 7月26日(土) 王禅寺オープンラボ [計画中]  
2014年 8月 8日(金) 第13回「科学体験教室」【大学行事】  
2014年11月1日(土)、2日(日) 学園祭@世田谷キャンパス【大学行事】  
2015年 2月 7日(土) 原子力安全工学科・卒論発表会【学科行事】  
2015年 3月19日(木) 学位授与式:第3回「友の会賞」授与  
2015年 月 日(土) 第4回総会

### 2. 議題

#### (1) 第3回「友の会賞」授与

- ・第2回までと同様に原子力安全工学科の学部生を対象として3件
- ・発表の審査についても、第1回と同様学科の先生方に依頼する

#### (2) 「原子力友の会の在り方について」 [前回総会にて提案(再掲)]

当会を大学とOBの絆の場として発展させていくのか、学生との交流を促進し、現役-OBの関係を深める方向で発展させるのか。

前者では、今後より顔合せの機会を増やすとともに、大学に足を運べるチャンスを増やす必要がある。

後者では現役の原子力友の会と交流を促進し、OBの大学を盛り上げたいという気持ちと、現役学生の、先輩と話をしたい、産業界の話を知りたいという気持ち双方にwin-winの関係を築ける様検討を深めていく必要がある。

前者の機会は単独で残しつつ、後者も実施してゆくのがよいかと思えます。やはりOB同士だけで話したい場合もありますし、逆にOBだけで大学の現状を話すには空走感がある場合もありますので。

#### (3) メーリングリストの設置 [前回総会にて提案(再掲)]

幹事会と全会員を分けて2つのメーリングリストを運用することで、会員に対する情報発信及び会員相互の情報交換に資する。

#### (4) イベント開催

##### ①山野氏より

提案ですが、総会や懇親会について、原研の先生・職員さん(退職者含む)にもオブザーバ参加の声をかけるのはいかがでしょうか？

また、友の会で、桜の季節に原研で花見を主催するというのはいかがでしょうか？（食べ物、飲み物は各自持参ということで極力労力を減らすなどの工夫をする）

## ②三木氏より [前回総会にて提案(再掲)]

### ●恒例行事の開催

- ・ 原研花見/テニス大会：その名の通り
- ・ 学祭における現学生との相談コーナー：  
現学生とグループを組んで意見交換。イメージはシニアとの対話のフランク版。現役 vs OB 討論会などを開いても面白いかもしれない。（永田町イベントの学生意見を聞いて世代による感覚のズレに驚いたもので）
- ・ 研究室、設備見学会：  
現状の大学の雰囲気を共有する為に見学会を開催。学生も同行することで交流も深まる。話が進めば、OB の方の所属先の施設見学会なども出来ればよりよい。

### ●OB および学生の自己紹介コーナー

どこかのイベント(幹事会でもよい)で、毎回割当てのあった方に、自己紹介(内容自由[大学時代の話でも、業務経験に係るものでも])をして頂く。やはり他の方のこういった話は面白い&相互理解が深まると思われる。

## ③事務局より [前回総会にて提案(再掲)]

### イベント企画

- ・ 幹事会も併せて実施しては？
- ・ 見学先の案
  - ・ 放射線医学総合研究所、JAEA 高崎研 …加速器関係
  - ・ SPEEDI 見学会 (2012年の総会アンケートで吉田直弘氏より提案)
- ・ 学園祭に合わせて懇親会(学生と卒業生の交流の場として)

以上



2014 年 6 月 7 日

# 予算案

年度： 2014年度 団体名： 原子力友の会

期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	445,664	
会費	126,000	2015年3月卒業生37名、その他5名(見込み)
<b>合計</b>	<b>571,664</b>	

支出の部		
科目	金額	摘要
総会案内郵送費	12,000	
原子力友の会賞	20,000	図書券5,000円3名分、賞状代
郵送用ラベルシート	1,500	
懇親会費(学生補助)	30,000	
<b>合計</b>	<b>63,500</b>	

<b>差引収支</b>	<b>508,164 円</b>
-------------	------------------

備考
会費：3000円/名

確認	作成
	羽倉